

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/ 教育・広報部

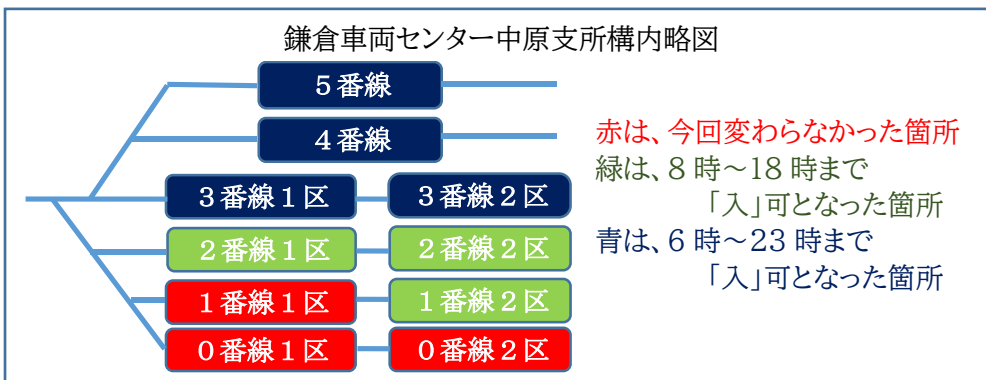
申第1号『鎌倉車両センター中原支所構内での「E233系騒音」に関する申し入れ』の交渉を行う!!

9月28日、申第1号鎌倉車両センター中原支所構内での「E233系騒音」に関する申し入れの交渉を行いました。
川崎市の条例により住宅地に近い中原支所構内0番線から5番線は、「E233系冷房装置から発生する騒音」対策のため、冷房装置を「切」としています。猛暑の中での出区点検は「命に関わる危険性」をはらみ、過酷な労働条件になっています。この労働環境下で作業をさせることは「安全、健康、働きやすさ」からかけ離れた急務な課題と受け止め、改善に向け、現場で働く者の想いを訴えました

1. 冷房装置の騒音が周辺住宅に漏れないよう防音壁を設置すること。
会社回答: 関係箇所と調整のうえ、必要な対策を検討している。
2. 騒音が川崎市の定める条例の基準値を下回る冷房装置に付け替えること。
会社回答: 現時点において、空調装置を取り替える計画はない。

議論内容は以下の通りです。

組合	会社
<ul style="list-style-type: none"> ・どのような防音工事を行うのか。 ・どのような調査を行うのか。 ・現場の社員に対して、調査であることを丁寧に伝えるべき。 ・どのように調査を行うのか。 ・工事日程及び内容について、詳しく聞きたい。 ・検証結果はいつ頃出すのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事については、防音効果の検証を行う。 ・今回の工事については、騒音対策調査を行うための準備。 ・ご意見は承った。 ・パネルを設置して検証・シミュレーションを行い、ソフト面・ハード面の対策を検討する。 ・10月3日から足場を組み、何種類かの対策を行い調査する。壁ありきではない。10月末には足場を含め全てのものを撤去する方向で考えている。 ・調整中である。
<ul style="list-style-type: none"> ・どのような状況で騒音調査を行っているのか。 ・騒音に関して、0番線から5番線で違いがあるのではないかと。時間帯によって空調装置を入れられるのではないかと。 ・冷・暖房で空調騒音に違いはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音測定は、会社として1編成ずつ冷房をいれて測定している。0番線2区でも測定している。 ・空調装置を入れられる番線は、現在も調査中。 ・騒音や冷・暖房については、切り分けて検証している。
<ul style="list-style-type: none"> ・E233系空調装置について、半減装置や消音装置の設置は可能なのか。 ・騒音の元となる空調装置の改良を本社へ伝えるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本社・メーカーでの対応となるため、支社で何が出来るかは難しい。 ・関係各所に伝えていく。



「時間帯によって空調装置を入れられるのではないかと議論し、結果一部番線ではありますが、**空調装置を「入」と出来る番線が拡大したことが明らかになりました。**
空調装置が「入」と出来る番線が拡大**改善を出来た**ことは、現場で働く組合員や社員が**声を出して**きた成果です。

気づいたことがあれば、声を出し、改善していこう!!